

中学生「生き方探求・チャレンジ体験」実施要領2016
平成28年11月8日(火)～11日(金) 08:30～15:00

2 日程

| | | | |
|-----------|-------------|-------------------------|--------------------|
| 11月8日(火) | 8:30～12:00 | 「オリエンテーション」 「教育普及活動」 | 生き物センター 生き物センター |
| | 12:00～13:00 | (昼食・休憩) | |
| | 13:00～15:00 | 「園内作業」 | 生き物センター |
| 11月9日(水) | 8:30～12:00 | 「飼育体験」 | 種の保存展示課 |
| | 12:00～13:00 | (昼食・休憩) | |
| | 13:00～15:00 | 「飼育体験」 | 種の保存展示課 |
| 11月10日(木) | 8:30～12:00 | 「飼育体験」 | 種の保存展示課 |
| | 12:00～13:00 | (昼食・休憩) | |
| | 13:00～15:00 | 「飼育体験」 | 種の保存展示課 |
| 11月11日(金) | 8:30～12:00 | 「教育普及活動」 | 生き物センター |
| | 12:00～13:00 | (昼食・休憩) | |
| | 13:00～15:00 | 「園内見学」 | 生き物センター |

3. 参加者 宕陰中学校, 岡崎中学校, 二条中学校 計7名

4. 飼育体験

| 日付 | 担当職員 | 担当動物 | |
|--------------------------|------|-------------------------------------|---|
| 11月9日(水) 08:30～15:00 | 黒田 | ゾウ, オオタカ・クマタカ, 小獣舎 | A |
| | 米田 | ゾウ, ハイラックス, 展示施設 | B |
| | 伊藤二 | チンパンジー, サル島, ペンギン, ヤブイヌ | C |
| | 岡部 | キリン, カバ | D |
| | 安井 | ゾウ, 熱帯動物館(哺乳類) | E |
| | 島田 | おとぎの国(ウサギ, テンジクネズミなど) | F |
| | 渡邊 | キリン, トラ, レッサーパンダ | G |
| 11月10日(木) 08:30～15:00 | 津村 | 調理場, フラミンゴ舎, ホロホロチョウ舎, ハヤブサ | A |
| | 竹中 | キリン, シマウマ, ミーアキャット | B |
| | 瀬尾 | ゾウ, 熱帯動物館(カメ, トカゲ, カエル) | C |
| | 水野 | ゴリラ, サル舎, エミュー, クジャク | D |
| | 佐藤 | キリン, ライオン | E |
| | 岩橋 | ゾウ, 熱帯動物館(鳥類), カモシカ・シカ, ツル, アカショウビン | F |
| | 中原 | おとぎの国(ウサギ, テンジクネズミなど) | G |

4. 内容

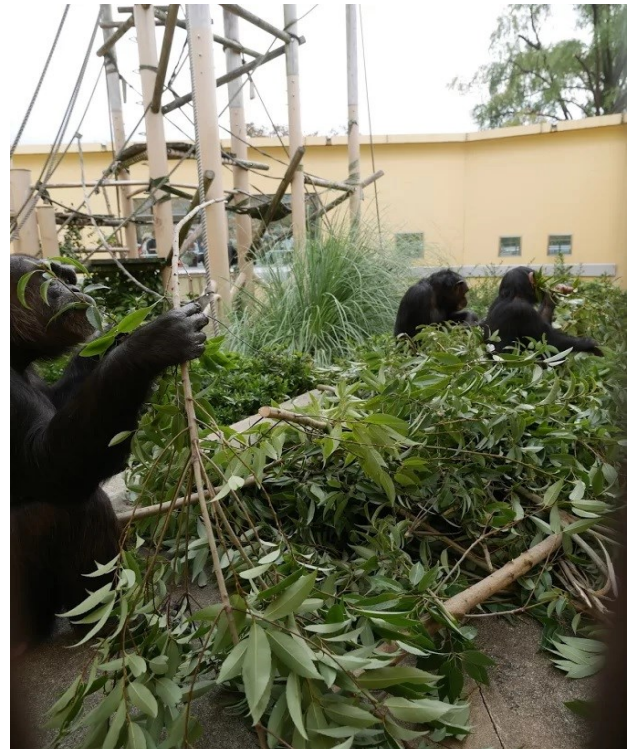
・木の枝ベッドづくり

チンパンジーなどで観察される木の枝ベッドづくりを園内のシラカシの剪定枝を使って実施し、消防ホースを使ったハンモックづくりと同様、ワークショップとしての可能性を検討。
実際の寝心地を自身で確かめた後は、チンパンジーにプレゼントし、チンパンジーの反応を観察。





チンパンジーたちは、上に乗ったりもしていましたが、葉を食べるなど数日間かけて楽しんでいました。
木の枝ベッドづくりのワークショップは実践可能だと感じましたので、実現に向けて進めていきたいと思います。



・図書館カフェでの本の整理及び講演などで使用している標本(頭骨、皮など)の触察。

・飼育体験

体験2日目と3日目は飼育員について、それぞれが担当している動物に係る掃除・給餌・調餌などの基本的な飼育管理を体験するとともに、飼育している個体や野生での現状などを学びました。





・教育普及活動及び園内見学

小学生3年生を対象に実施した講演を聴講するとともに、園内で収穫したもち米の籾から籾殻を取り除いて玄米にする作業を体験しました。その後、ウガンダの野生生物教育センター(Uganda Wildlife Education Center; UWEC)のスタッフ3人と彼らを人材交流事業で受け入れているよこはま動物園のスタッフとともに園内を見学しました。



・さいごに

3つの中学から参加者が集まり、初めて一緒に活動するという状況の中で職場体験を行いました。その中でとのこと感じたのは、みんなで一緒にいる時は、会話もできていたと思うのですが、飼育員について一人で作業する状況では、緊張のためか、あまり話ができているようでしたので、もっと積極的に話すことができれば良かったと思います。また、海外から来られた方と一緒に園内を見学し、英語での説明などを直に聞く機会もあり、動物園のいろいろな面を見て、刺激になったのではないかと思います。

今回の経験を今後の糧にしてもらえればと思います。4日間お疲れ様でした。

京都市動物園 生き物・学び・研究センター 和田